

広島県の地震

2025（令和7）年8月

目次

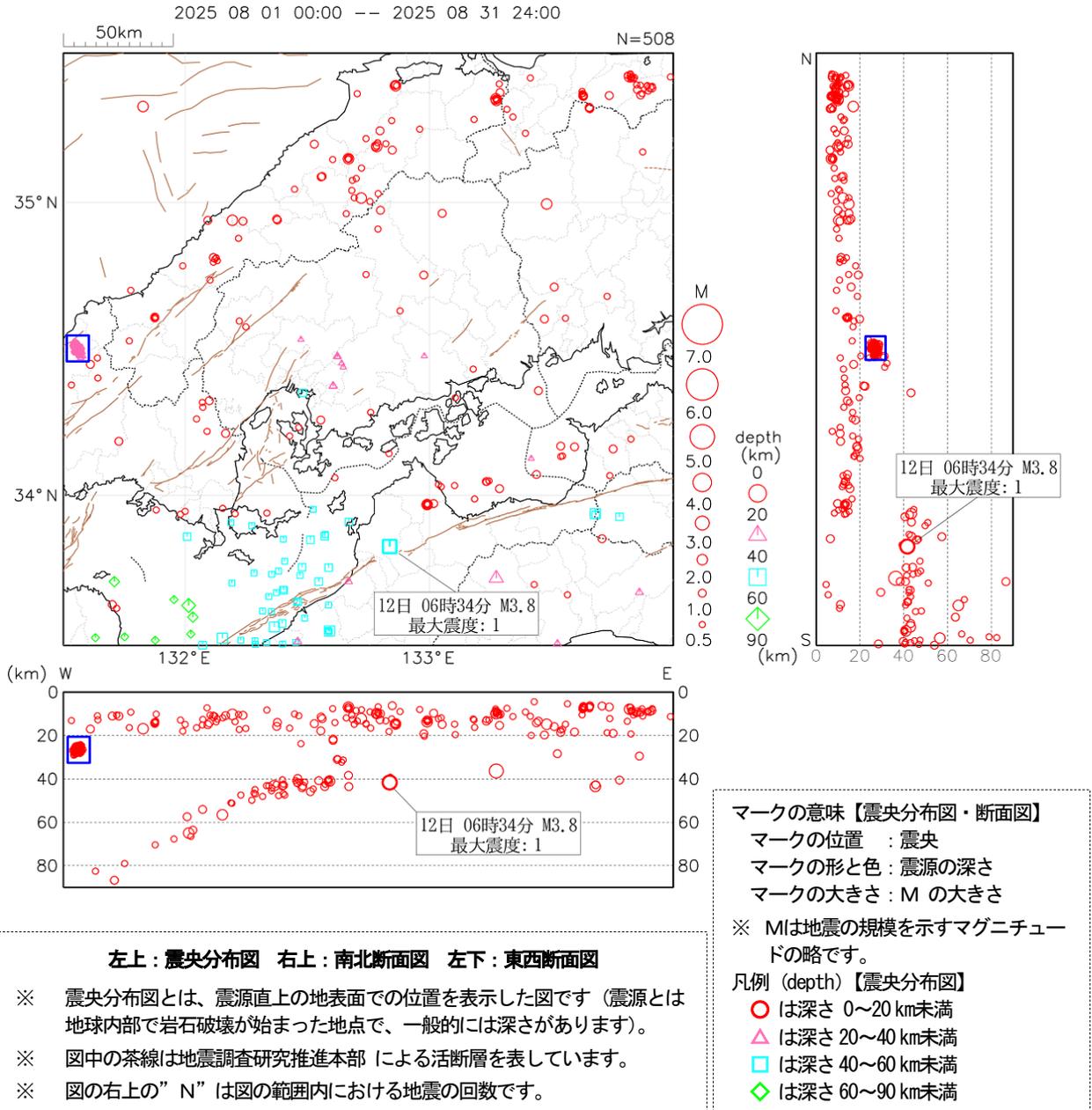
広島県及びその周辺の地震活動……………	1
震央分布図・断面図と地震概況	
広島県における震度1以上の地震……………	2
震度一覧表と震度分布図	
地震メモ 第249回……………	5
推計震度分布図について	

広島地方気象台

広島県及びその周辺の地震活動

【震央分布図・断面図】

2025年8月1日～8月31日



【地震概況】

この期間、広島県内で震度1以上を観測した地震は3回でした（先月は2回）。

6日02時53分 大分県中部の地震（深さ50km、M4.2、上図の範囲外）により、大分県佐伯市で震度3を観測したほか、中国・四国・九州地方で震度2～1を観測しました。広島県では呉市・大竹市・府中町で震度1を観測しました。

12日06時34分 愛媛県中予の地震（深さ42km、M3.8）により、広島県三原市・尾道市・福山市・呉市・東広島市・海田町・大崎上島町で震度1を観測したほか、愛媛県、山口県で震度1を観測しました。

17日06時13分日向灘の地震（深さ29km、M5.7、上図の範囲外）により、宮崎県美郷町・宮崎市・串間市・国富町で震度4を観測したほか、中国・四国・九州地方で震度3～1を観測しました。広島県では大竹市・府中町で震度2を観測したほか、県内の多くの地点で震度1を観測しました。

なお、山口県北部の深さ25kmから30km程度（震央分布図・断面図青枠内）では、2025年2月から微小な地震活動が見られており、6月以降、地震回数は減少していましたが8月に再度増加しました。地震活動の詳細については、気象庁HP「令和7年8月の地震活動及び火山活動について」及び地震調査研究推進本部HP「2025年8月の地震活動の評価」を参照願います。

- ・気象庁 <https://www.jma.go.jp/jma/press/2509/08a/2508kinki-chu-shikoku.pdf>
- ・地震調査研究推進本部 https://www.static.jishin.go.jp/resource/monthly/2025/2025_08.pdf

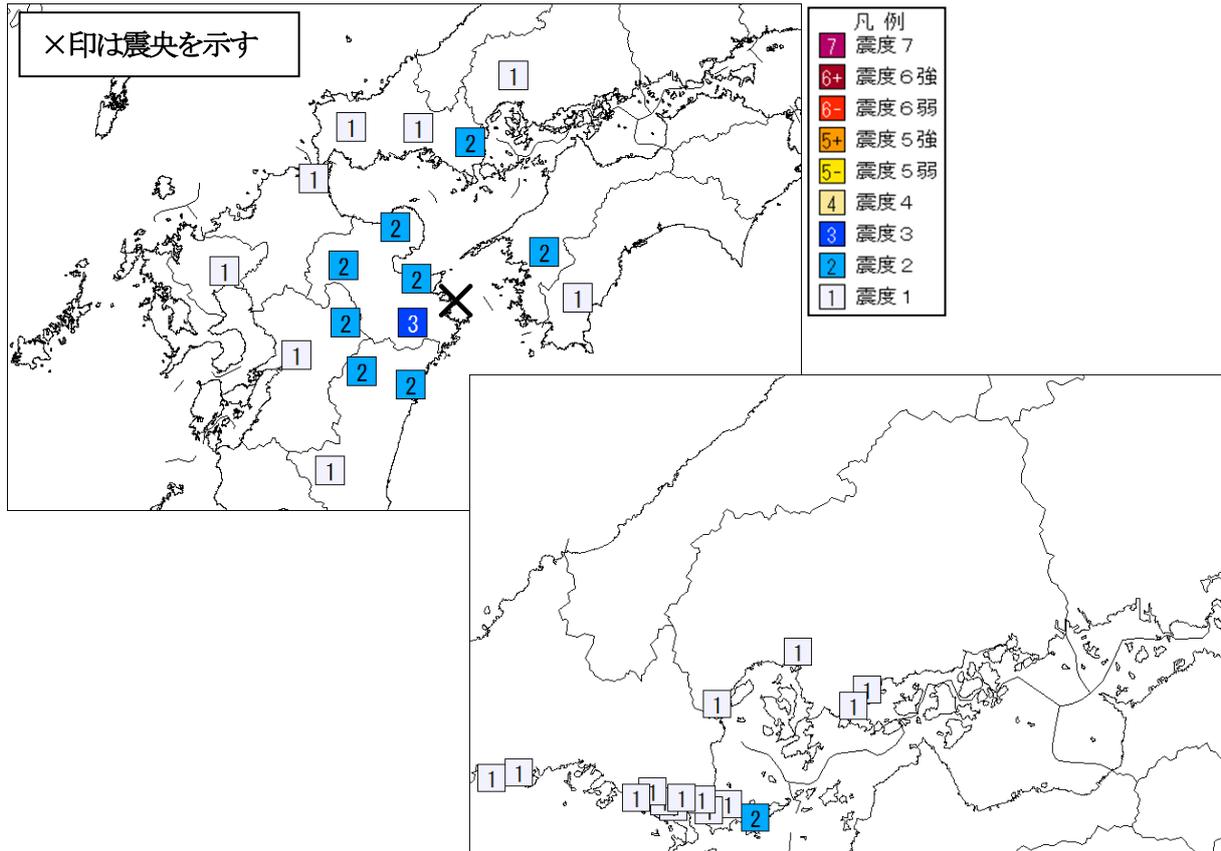
広島県における震度1以上の地震

【震度一覧表】

発震時刻（年月日時分）	震央地名	緯度	経度	深さ	M
広島県内の各地の震度					
2025年08月06日02時53分	大分県中部	33° 04.6' N	131° 58.8' E	50km	M4.2
————— 地点震度 —————					
広島県 震度 1： 呉市川尻町*、呉市安浦町*、大竹市小方*、府中町大通り*					
2025年08月12日06時34分	愛媛県中予	33° 49.4' N	132° 50.2' E	42km	M3.8
————— 地点震度 —————					
広島県 震度 1： 三原市円一町、三原市本郷南*、尾道市向島町*、福山市松永町、福山市内海町*、呉市音戸中学校、呉市広*、呉市下蒲刈町*、呉市豊浜町*、呉市川尻町*、呉市安浦町*、呉市豊町*、東広島市黒瀬町、東広島市西条栄町*、海田町役場*、大崎上島町中野*、大崎上島町木江*、大崎上島町東野*					
2025年08月17日06時13分	日向灘	32° 02.2' N	131° 56.1' E	29km	M5.7
————— 地点震度 —————					
広島県 震度 2： 大竹市小方*、府中町大通り*					
震度 1： 安芸高田市向原町*、三原市本郷南*、尾道市向島町*、尾道市瀬戸田町*、福山市内海町*、広島中区羽衣町*、広島西区己斐*、広島安佐南区祇園*、呉市宝町、呉市広*、呉市川尻町*、呉市音戸町*、呉市安浦町*、呉市豊町*、東広島市黒瀬町、海田町役場*、江田島市大柿町*、江田島市能美町*、竹原市中央*、大崎上島町東野*					

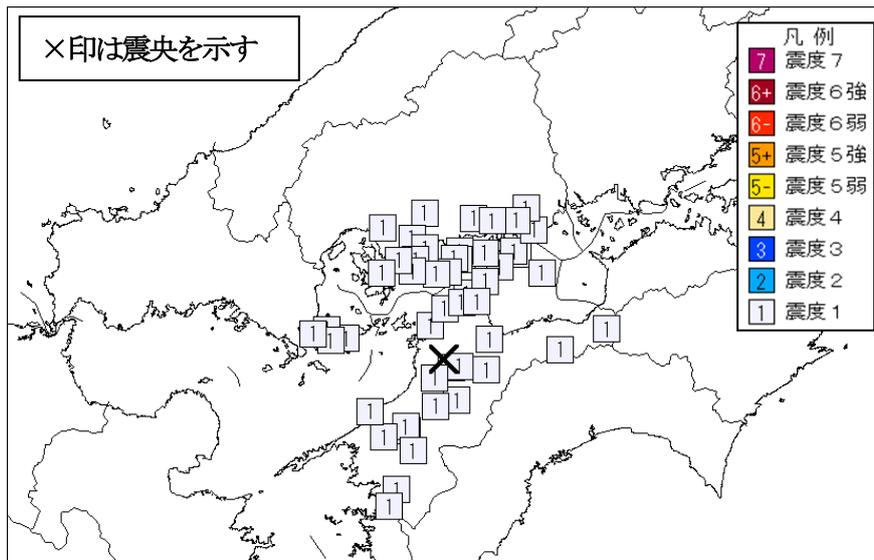
注) 震度の地名に*印を付したものは、広島県または防災科学技術研究所の震度観測点によるものです。

【震度分布図】

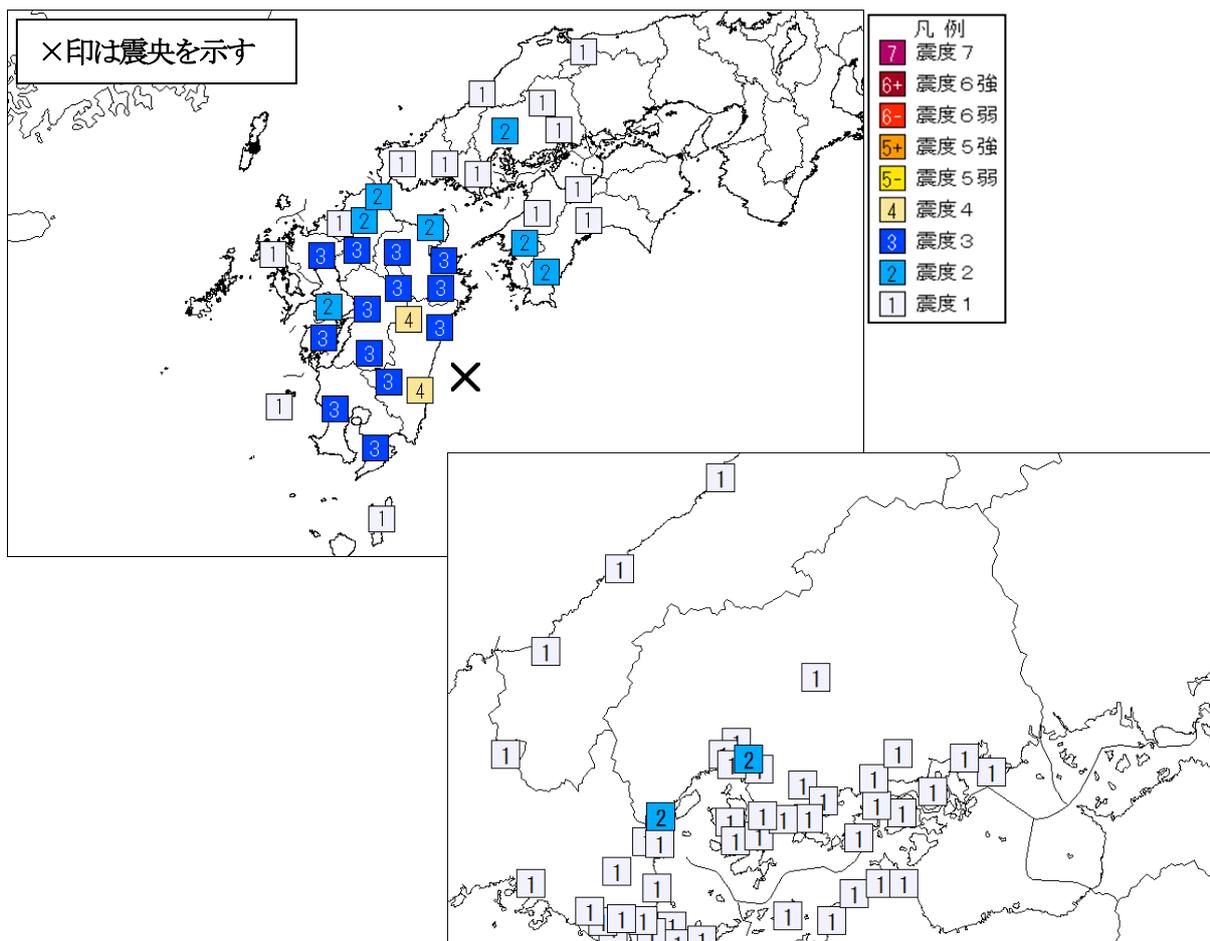


2025年08月06日02時53分 大分県中部の地震

(左上) 地域震度分布図、(右下) 広島県周辺の観測点震度分布図



2025年08月12日06時34分 愛媛県中予の地震の観測点震度分布図



2025年08月17日06時13分 日向灘の地震

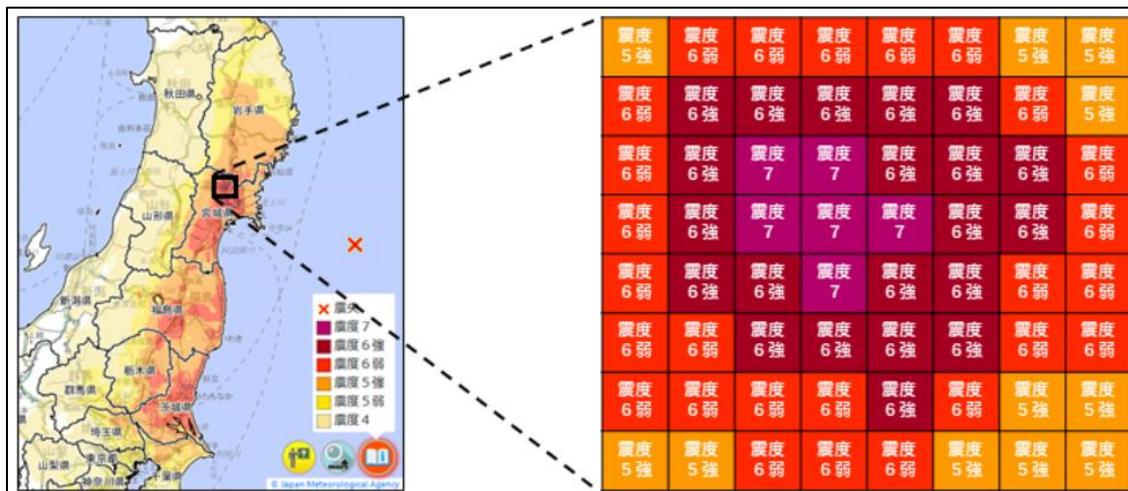
(左上) 地域震度分布図、(右下) 広島県周辺の観測点震度分布図

○推計震度分布図とは

軟弱な地盤では揺れが大きく、固い地盤では揺れが小さいなど、地表で観測される震度は、地面表層の地盤増幅度の影響を大きく受けます。「推計震度分布図」は、実際に観測された震度等を基に、この地盤増幅度を使用して震度計のない場所の震度も推計して面的な分布図で震度を表現したものです。令和5年2月1日より、それまでの1kmメッシュ（平成16年3月1日～令和5年1月31日）から250mメッシュで震度を推計しています。

推計震度分布図では、震度の大きな地域がどのような広がりを持って分布しているかを確認することができます。震度が大きく推計された地域は、河川の流域、沖積平野、湿原地帯などといった揺れやすい地盤を反映していることがあります。大きな震度の面的な広がりを考慮して、被害状況把握などの参考資料としてご利用ください。

メッシュ毎に推計される震度のイメージ



○発表基準

全国いずれかの震度観測点で震度5弱以上を観測した場合に発表し、推計震度4以上の範囲を示します。

※ただし、震度5弱以上を観測していても、強い揺れの範囲に十分な広がりが見られない場合などは推計震度分布図を発表しないことがあります。

○提供方法

地震発生後速やか（15分後目途）に、推計震度分布図を地方公共団体等関係防災機関に提供するとともに、気象庁ホームページにも掲載します。

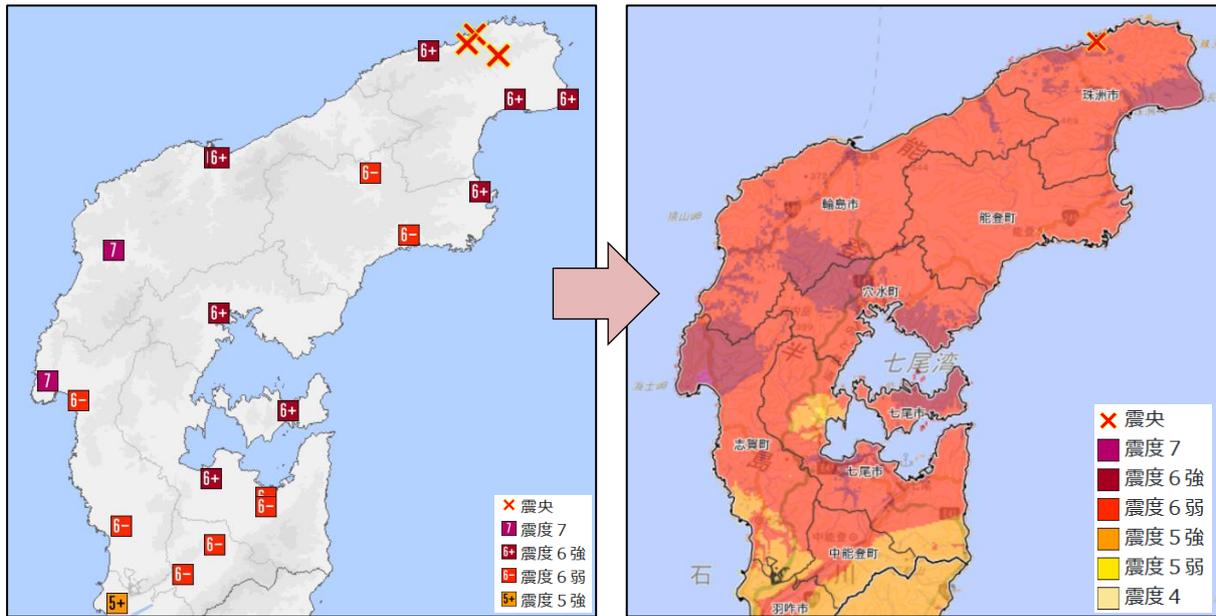
○推計震度分布図の利活用

推計震度分布図は、地図データとして活用可能な形式で、メッシュごとに推計した震度情報を提供します。このため、地図に重ね合わせて利用することで様々な活用いただけます。気象庁ホームページでは、地図データと重ね合わせて掲載しますので、揺れが強かった地域を一目で確認したり、震度計がない地域の震度を速やかに把握することが可能です。

利活用事例の一つとして、地震発生直後の、応急対応すべき優先箇所の判別に活用可能です。迅速かつ適切な避難ルートを選定や避難場所の選定等に活用いただけます。

ある震度が推計された地域において、どのような現象や被害が発生すると想定されるかについては、気象庁震度階級関連解説表をご参照ください。

2024年1月1日16時10分「石川県能登地方の地震」の例



地点震度の分布図

※ほぼ同時刻に発生した地震であり
震度の分離ができないため、
震源を複数記載。

推計震度分布図 (250m メッシュ)

(気象庁ホーム>防災情報>推計震度分布図)

○利用上の留意事項

推計震度分布図で示す個々のメッシュの震度は、各メッシュの矩形内が同一震度であることを示すものではなく、またメッシュの境界線が震度の境界でもありません。したがって、分布図を必要以上に拡大してメッシュの境界線を強調してもあまり意味がありません。図を活用する場合、大きな震度の面的な拡がり具合やその形状に着目していただくことが重要です。また、推計された震度の値は、場合によっては1階級程度異なることがあります。

参考：気象庁ホームページ

- ・ 防災情報>地震・津波>推計震度分布図
https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=estimated_intensity_map
- ・ 知識・解説>推計震度分布図について
<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/suikai/kaisetsu.html>
- ・ 知識・解説>震度について>気象庁震度階級関連解説表
<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/shindo/kaisetsu.html>

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

なお、本資料の震源要素及び震度データは暫定値であり、後日再調査のうえ、修正されることがあります。

広島県の地震に関する問い合わせ先

〒730 - 0012

広島市中区上八丁堀 6 - 30 広島合同庁舎 4 号館 14 階

広島地方気象台 防災管理官室 TEL : 082 - 223 - 3965